



林業ニ二情報 No.170

令和5年7月

- 1 「日立市さくらのまちづくり推進市民会議」及び「五反田の桜を守る有志の会」が令和5年度さくら功労者として表彰される 1
(常陸太田林業指導所 関)
- 2 大子林業改良普及協会の視察研修が開催される 3
(大子林業指導所 山本)

R5. 林業ミニ情報（令和5年7月）

（常陸太田林業指導所 関 敦紀）

タイトル	「日立市さくらのまちづくり推進市民会議」及び「五反田の桜を守る有志の会」が令和5年度さくら功労者として表彰される
年月日	令和5年4月4日（火）
場所	星陵会館（東京都千代田区）
内容	<p>さくら功労者は、（公財）日本さくらの会がさくらの保護・育成のため、さくらの愛護、育成及び研究、その他さくらに関わる著しい功績があり、他の模範となる団体や個人を表彰するものです。</p> <p>この度、さくらの保護・育成等に係る日頃の活動が評価され、「日立市さくらのまちづくり推進市民会議（日立市）」と「五反田の桜を守る有志の会（常陸太田市）」が令和5年度さくら功労者に選定されるとともに、令和5年4月4日に（公財）日本さくらの会主催の第58回さくら祭り中央大会において表彰されました。</p> <p>「日立市さくらのまちづくり推進市民会議」は、官民協働によるさくらのまちづくりを推進するため、市民団体、教育関係者、産業界、市関係機関、学識経験者で構成され、日立市のさくらのまちづくりの指針となる「ひたちさくら彩プラン」の策定に向けた審議を行ったほか、市固有の桜である日立紅寒桜の安定供給に向けた苗木の生産、かみね公園及び鞍掛山など桜の名所の整備等の活動を行っています。</p> <p>「五反田の桜を守る有志の会」は、地元有志で結成され、常陸太田市瑞龍町の五反田ため池周辺において、支柱設置、薬剤・肥料の散布、せん定作業などの桜の保護活動のほか、丸太ベンチや看板の設置、草刈りなどの景観整備に取り組んでいます。これまでの日々の活動の結果、五反田ため池は、ウグイスの鳴き声を聞き、水面に映る桜の花や優雅に泳ぐコイを眺めながらゆったりとしたひとときを過ごせる市民の憩いの場となっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>日立市園芸の早咲きの桜 ひたちべにかんざくら ❀日立紅寒桜❀</p> <p>市固有品種の日立紅寒桜 (日立市さくらのまちづくり推進市民会議)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>表彰式 (五反田の桜を守る有志の会)</p> </div> </div>

普及成果等	2団体の精力的な取組や今回の表彰は、他の森林ボランティア団体等の活性化に寄与するものと考えております。当指導所では、社会全体で緑化活動や森林整備を進める機運を醸成するため、地域で緑化活動等を行う団体に対し、知識や技術の普及に努めてまいります。
--------------	---

タイトル	大子林業改良普及協会の視察研修が開催される
年月日	令和5年2月22日（水）
場所	協和木材株式会社工場・森林総合研究所林木育種センター
内容	<p>令和5年2月22日に、大子林業改良普及協会(会長 飯村憲章)による視察研修が開催されました。</p> <p>当研修は、先進的な製材施設・研究機関などの視察を行い、林業経営の改善・向上につなげることを目的に開催され、今回は、協和木材株式会社工場と森林総合研究所林木育種センターを訪問しました。</p> <p>協和木材株式会社工場は2006年に稼働を開始しました。製材量は月に約3万m³で、主に福島・栃木・茨城の県境に位置する八溝山系のスギ・ヒノキを用いて、柱・梁等の構造材、垂木・野縁等を生産しています。工場では、搬入された丸太を木口径に応じてツインバンドソーにより正角や平角、板に製材したのち、高温又は中温乾燥機で乾燥させ、色、つやにこだわった製品に仕上げています。また、製材時に発生した端材・おが屑は、乾燥機の燃料に利用されており、資源を有効利用できる体制になっています。参加者は、担当者から施設概要の説明を受けた後、製材・乾燥施設など工場内をバスで見学し、意見交換を行いました。</p> <p>森林総合研究所林木育種センターでは、成長に優れたエリートツリーや早生樹であるコウヨウザンなどの研究に取り組んでいます。スギ・ヒノキのエリートツリーは1年で1m程度成長することから、下刈りの期間を2年程度短縮でき、さらに伐期を30年程度にすることが期待されています。また、コウヨウザンは生育適地では林分材積がスギの2倍以上になり、さし木による増殖が可能で、萌芽性にも優れていることから、新たな造林樹種として期待されています。センターではエリートツリー・コウヨウザン植栽地、特定母樹等育成温室を見学し、研究の内容について説明を受けました。</p> <p>参加者からは、協和木材株式会社の取組について、製材時の端材も余すことなく利用し、資源を有効に活用していることに感心したという意見が聞かれました。また、林育種センターの研究については、エリートツリーの初期成長の良さ、コウヨウザンの萌芽性について興味を示した参加者が多く、「苗木が小さいと下刈りの時に誤伐してしまうので、成長の早い苗木が欲しい。」「コウヨウザンの萌芽状況を見て、造林樹種として期待できそう。地元でもしっかり活着するのか気になる。」等の感想があがりました。</p>



工場での意見交換の様子



ツインバンドソーでの製材風景



LED ライトによる苗木の成長促進試験の風景



コウヨウザンの萌芽について見学

普及成果

今回の視察研修では、国内でも有数の大規模製材施設や、研究機関での先進的取組を見学することで、会員が新しい知見を得るとともに、会員同士で交流し、情報交換を行う貴重な機会とすることができました。当指導所では、地域の林業の振興のため、今後も当協会の活動を支援して参ります。